



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和 2 年 1 月 20 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ ムサチヨウナイカイ

団体名 牟佐町内会

所在地

連絡先

フリガナ

タジリユウジ

代表者 職・氏名 町内会長 田尻祐二

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	「産地牟佐」にこだわった地域活性化
事業実施小学校区・地区	牧石学区・牟佐町内会
事業実施回数	新規・ <input checked="" type="radio"/> 継続 4回目 / 【平成 29 年度から】
課題	※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。 昨今、我が地域は、農家が積極的に黄ニラやパクチーを全国的に売り出し、大きな注目を浴びている。一方では、山と川に囲まれた豊かな自然があり、種々の自然資源が存在するが、今日では、ごく一部の人がそれらに関わるばかりで、一般の住民や子供達がそれらに直接触れる機会はほとんどない。その存在も、ましてやそれらが活用できる資源であることも知られていないのではないか。日常にある、あるいは身近にあることは知っていても、触れることがないために、その価値を知らない、わからない。これは地域にとっては大変に残念なことと言わざるを得ない。
事業の目的	※事業を実施する「目的」を記載してください。 大切な自然の恵みが身近に存在するということを知り、ワークショップ的に活用し、より地域に対する愛情、誇り、アイデンティティの醸成などにつないでいく。 併せて、それらの資源を加工・販売し、町内に収益として還元できる可能性を探る。

事業の内容	<p>※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。</p> <p>町内の農家、猟師とまちづくり協議会等との連携により、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内での農産物被害対策としての有害獣の駆除活動の紹介・学習 ・町内で駆除されたイノシシ等のジビエ利用や皮革活用（ワークショップ）等を通して自然資源の大切を学ぶ。 <p>これについては、過去の取組みの参加者アンケートからも明確で、ワークショップに対する住民の関心度、満足度はとても高い。引き続き、参加の機会拡大に挑戦してみたい。イノシシにとどまらず、鹿の被害から駆除も始まっている。ジビエ（シシ肉入りカレー等）も好評であったことから、そのPRのためにも、いわゆる子ども食堂的なものをイメージして、もう少し広く提供できないか検討してみたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年立ち上げた「産地牟佐塾」において、町内で駆除された獣皮を活用した加工品づくりに取り組み、「産地牟佐」のブランドづくりに挑戦する。 <p>「産地牟佐塾」で、加工の専門家に指導を受けながら、対価を得ることができるような「産地牟佐」ブランドの製品づくりにチャレンジをスタートさせたが、さらに完成度の高い製品にも挑戦し、「産地牟佐」のブランドづくりに挑戦してみたい。ちなみに、昨秋の、地元の岡山刑務所矯正展は台風接近のため中止となり、試作品販売はかなわなかったが、ならばと、これまた地元開催の、黄二ラ、岡山パクチーふれあい祭り会場でのフリーマーケットにて販売に挑戦した。お陰様で来場者の関心も高く、好評であった。</p> <p>初の試みとして、イノシシの脂から作る石鹸が人にやさしいということから、ネット販売を手掛けるジビエソープさんと、イノシシ皮革製品販売についてアドバイスを受けてみたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内での蜂蜜づくりの挑戦・紹介・学習 ・地元の旭川で獲れた鮎、川ガ二等の紹介・学習・試食 ・町内にある「太戸の滝」の紹介 ・町内の自然や暮らしなど地域をテーマにした写真展の開催
	期待される成果・目標

<p>企画などの工夫</p>	<p>※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしばったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。</p> <p>有害とされ駆除されるイノシシ等の皮が活用されることはなかった。町内で捕獲されたイノシシの皮をなめして町内へ戻していただき、町内で皮革として革製品に加工（ワークショップ）。そして、参加者がそれを活用する。引き続きの試みとして、町内で蜂蜜づくりに挑戦することで自然資源がいかに身近に存在するかを知ることができる。これらは「産地牟佐」として、認識を深めることができる。</p> <p>写真はもちろん、取り組みを動画で記録。インタビュー等により、住民が主役の内容とする。</p>
<p>協働する団体等</p>	<p>※事業実施にあたり協働することを想定している団体・企業・大学等の名称とその団体間の役割分担について記載してください。あるいは提案団体が既に協働組織となっている場合は、事業実施メンバーの備考欄に団体名をご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の猟師（山、川）：有害獣駆除、加工処理 ・MATAGI プロジェクトプロジェクト（東京都墨田区 山口産業）：皮のなめし、染作業 ・岡山県セルフセンターOB：皮革製品製作指導、加工器具提供 ・牟佐町内会：関係団体調整、本事業企画・実施、経費負担 ・牟佐区（農家組織）：被害状況報告、有害獣駆除補助 ・牟佐町内会子供会：小学生の参画について企画提案 ・牟佐まちづくり協議会構成団体（シニアクラブ、婦人部ほか）：ジビエ料理ほか調理、ワークショップ開催 ・牟佐町内ボランティア：有害獣駆除作業補助、「産地牟佐塾」へ参画 ・ジビエソープ（Gibier Soap）株式会社：皮革製品のネット販売
<p>事業の情報公開</p>	<p>※区づくり推進事業は、広く区民への情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内住民へチラシ配布 ・電子町内会（町内会ホームページ）や Facebook にてネットによる情報発信 ・ユーチューブ等への動画による情報発信 ・報道機関への情報提供 ・関係機関のホームページ：昨年は井原市美星町から東水砂公民館の視察を受け入れた。これは、一昨年の中四国農政局長賞受賞の情報を知ったこと。過去の受賞等は、中四国農政局のホームページからネットを通して、市内外に広がっているようだ。
<p>学区地区への広がり</p>	<p>※小学校区・地区より狭い範囲（単位町内会等）での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連合町内会、北公民館へはチラシやニュース等配布。電子町内会や町内会コミュニティの Facebook により一般に情報提供。企画・運営は町内会が核となっているが、事業としては、積極的に参画・協働する子ども会を通じて学区内や学校へ広がり、協働する岡山県セルフセンター、猟友会等を通じて、市内・県内へ広げ、MATAGI プロジェクトを通じて、全国へも広げていきたい。 ・学区のまつり等販売のチャンスがあれば、チャレンジしたい。

<p>前年度からの見直し拡充点</p>	<p>※継続事業で申請される場合は、前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したことを記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年は、拠点である公民館が耐震化工事のため、8月以降使用できないこととなり、予定通り進めることができなかった。しかし、個人宅をお借りしての「産地牟佐塾」の取組みは、毎週実施でき、来年度は拠点を公民館に戻ることから、着実に事業を実施したい。 ・ イノシシや鹿の皮革に対する関心の高さをふまえ、さらにレザークラフト教室への参加機会を拡大するとともに、昨年立ち上げた「産地牟佐塾」を通して、完成度が高く、対価を得ることができる製品に磨きをかけ、「産地牟佐」ブランドづくりに挑戦してみたい。新年度も岡山刑務所での矯正展やフリーマーケット等を通じて収益づくりに挑戦してみたい。併せて、初めての挑戦は、ネット販売の可能性を探りたい。 ・ ジビエ（シシ肉入りカレー等）に対する評価も、シシ肉がとてもおいしいという感想が多く聞こえてきたことから、地元産のジビエの味を知っていただく機会を拡大してみたい。これについても成功すれば、将来的には「産地牟佐」のジビエとして、対価を得ることができるのではないかと考えている。引き続き、衛生基準等を学ぶなど、その方向も探してみたい。 ・ 一昨年、町内にある「牟佐大塚古墳」が日本遺産の構成文化財となったが、昨年は、急きよそれらを中心としたおもてなしプログラムを開催したが、古墳をモチーフとしたイノシシ皮革のタグを企画し作成。参加者に記念としてお配りした。この取組みをさらに拡充してみたい。
<p>次年度以降の予定</p>	<p>※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。</p> <p>①次年度以後の活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き皮革が確保できるのであれば、同様のワークショップを開催。 ・ 引き続きアドバイスもいただき、ブランド化や販売につなげることができる可能性を探る。 <p>②資金の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ・ 「産地牟佐」のブランドでの販売（直接販売、ネット販売）により、自己資金を稼ぎたい。
<p>その他PRしたい点</p>	<p>農水省が実施した「平成29年度鳥獣被害対策優良活動表彰」の「捕獲鳥獣利活用部門」で、中四国農政局長賞をいただいた情報は、当局から情報発信され、他地区公民館からの視察受け入れや、大学生の卒業論文の取材受け入れるまでになっている。さらにこの事業に自信をもって、地域の活性化に取り組んでまいりたい。</p>

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・牟佐の自然をテーマにした写真展準備作業 ・「産地牟佐」の蜂蜜づくり事業準備 ・「産地牟佐塾」開催 (週1回)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会文化祭を活用し、牟佐の自然をテーマにした写真展の開催 ・「産地牟佐」の皮革製品作成ワークショップ (夏休み子ども教室) 準備会議立ち上げ ・「産地牟佐塾」開催 (週1回)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・「産地牟佐」の皮革製品作成ワークショップ (夏休み子ども教室) 準備会議および作業 ・「産地牟佐塾」開催 (週1回)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・「産地牟佐」の皮革製品作成ワークショップ (夏休み子ども教室) の準備および開催 (夏休み最初の日曜日) ・「産地牟佐」の蜂蜜づくり事業紹介 ・「産地牟佐塾」開催
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・「産地牟佐塾」開催 (週1回) ・「産地牟佐」の皮革製品作成ワークショップ準備
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・「産地牟佐塾」開催 (週1回) ・「産地牟佐」の皮革製品作成ワークショップ準備
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会運動会を活用し、「産地牟佐」事業の紹介 ・「産地牟佐塾」開催 ・岡山刑務所矯正展を活用し、「産地牟佐塾」皮革製品販売 ・「産地牟佐」の皮革製品作成ワークショップ準備
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・「産地牟佐塾」開催 ・「産地牟佐」の皮革製品作成ワークショップ準備および開催 (大人の部)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・「産地牟佐塾」開催 ・もちつき大会を活用し、ジビエ料理ほか (しし汁、カニ汁、はちみつetc.) 試作、試食 ・「産地牟佐」の蜂蜜づくり事業紹介
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・「産地牟佐塾」開催
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・「産地牟佐塾」開催 ・町内会総会にて、記録の発表・報告
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・「産地牟佐塾」開催 ・反省会開催

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算 (決算見込可)	予 算	備 考
岡山市補助金	275,000	300,500	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	217,100	240,500	
参加者負担金	7,000	30,000	
協賛金			
寄付、他収入	50,900	50,000	皮革製品販売
計	550,000	621,000	

◆ 支 出

単位:円

費 目	前年度決算	予 算	備 考
消耗品費	60,000	80,000	会議資料用紙、プリンターインク、文具、記録媒体、皮革加工用道具類、80,000
食糧費	20,000	21,000	会議茶 @3,000×7 回
印刷製本費	20,000	20,000	記録資料(紙) @100×100=10,000 記録資料(DVD) @100×100=10,000
報償費	50,000	100,000	皮革加工指導 10 回 @10,000
原材料費	130,000	100,000	ワークショップ ジビエカレー材料 10,000 レザークラフト材料 90,000
委託費	200,000	200,000	①害獣加工処理 @1,000×20 頭=20,000 ②皮革なめし処理 @9,000×20 頭=180,000
使用料	55,000	25,000	①皮革加工器具借用 @5,000 ②ミツバチ巣箱借用 @10,000 ③川ガニ捕獲器具借用@10,000
通信運搬費	15,000	15,000	皮革運送料 @1,500×10=15,000
参加者保険料	0	60,000	@10,000×ワークショップ 2 回、 「産地牟佐塾」等30回
計	550,000	621,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	希望しない
-----------	------	-------

: 前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。

注①: 支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場使用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。